

小学生版

# あたらしい児童書 NO. 300 2024. 12. 15

遠軽町図書館  
遠軽町大通南4丁目  
TEL42-3632  
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

## 『はたらく図書館』 矢萩 多聞／文

・図書館の仕事ってのんびりしてそう、と思ったら大間違い。書庫から本を取り出し、返ってこない本を催促し、壊れた本を直すこともあって、毎日大忙し！奈良の図書館「奈良県立図書情報館」の1日を写真で紹介する。(小初)



## 『ちいちゃんのおもちゃたち はなびのよるに』 齊藤 洋／さく

・小学校2年生のちいちゃんは、最近おもちゃで遊ばなくなってしまいました。ちょっぴり寂しいおもちゃたちは、ちいちゃんや家族の見てない時には、おもちゃ同士で遊んだり、冒険したり…。おもちゃたちのストーリーを3話収録。(小初)



## 『ゆうやけトンボジェット』 吉野 万理子

・飛行機が好きで、仲間から変わり者だと思われるトンボのジェット。1匹のテントウムシと出会い、話しているうちに、ジェット機になってお客さんを運ぶことを思いつき…。大空を舞台にした、昆虫たちの友情と冒険の物語。(小初)



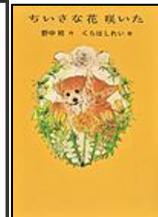
## 『森でつながるエゾモモンガ』 写真・文／原田 佳実

・北海道の森にすみ、食べるも眠るも、すべて木の上で行うエゾモモンガの謎につつまれた生態を、ほかの生き物たちとの関係性も含めて紹介する写真絵本。エゾモモンガの生態を詳しく解説したQ&Aも掲載。(小初、小中)



## 『ちいさな花咲いた』 野中 柁／作

・冬も間近のある朝咲いた、季節はずれのたんぽぽ。その健気な存在を見つけたのは、子犬のマールと、街ねこのミーシャで…。街のかたすみで懸命に生きる、ちいさなもののたちの友情と、めぐる命の奇跡を描いた物語。(小中)



## 『いつまでもともだち』 仁科 幸子

・モグラとともだちになったハリネズミ。土の上に住んでいるハリネズミと、土の中で暮らすモグラは、見えるものも、好きなものもまったく違って…。ふたりのやりとりをあたかなユーモアとともに描いた、8つの短いお話を収録。(小中)



## 『いかだネコG氏12のぼうけん』 山下 明生／作

・瀬戸内海の島の入り江に浮かぶ、コッパ養魚天国。若き社長が始めたばかりの養殖場で、ネコのG氏が唯一の社員です。初めてのタイの出荷まで、もうすぐ。大切なタイを無事に出荷するまで、人間もネコも大忙し！(小中)



『ふみきりペンギン』 おくはら ゆめ

・ゆうとはペンギンの話を、るりは白いヘビの噂を、ななこは鏡のライオンを、そうすけはフクロウの占いを、聞いたり、見たり、感じたり…。「ふつうとは？」を決めつけず「自分らしさ」を肯定する、ある町の小学3年生の物語。(小中)



『ぼくたちは宇宙のなかで』 カチャ・バーレン／作

・フランクは10歳。5歳の弟マックスは、気に入らないことがあると暴れて叫びだす。フランクはマックスを弟と思いたくなくて…。ぶつかり、傷つきながら“家族という宇宙”のなかで生きていく兄弟を描く感動の物語。(小上)



『コメディ・クイーン』 イエニー・ヤーゲルフェルト／作

・母親がうつ病で自殺した。12歳のサーシャは、だれにも内緒で「死なないために、気をつけなきゃいけないこと」リストをつくり、お笑いの女王「スタンダップ・コメディアン」をめざし…。少女の心の痛みと再生を描いた物語。(小上)



『呼人は旅をする』 長谷川 まりる

・呼人はなにかを寄せてしまう。動物や、虫や、植物、自然現象。だから、ひとつの場所にとどまらず旅をする。5人の呼人と、呼人に関わる人たちの姿を描く、痛みと希望の連作短編集。(小上)



『妖怪コンビニ 5』 令丈 ヒロ子／作

・ライバル店の妖怪コンビニ「スターX」のおそろしい悪だくみとは？ 謎をつきとめるため、アサギたちツキヨコンビニの面々は危険をかえりみずスターXのクリスマス・パーティーに潜入する。そこには…。(小上)



『しじんのゆうびん屋さん』 斉藤 倫

・郵便局で働くガイトーとトリノス。一度も手紙をもらったことがないという灯台守のじいさんにガイトーが手紙を書き、トリノスが配達するが、そこには詩が書かれていて…。小さな街の人々の心を動かす、ふしぎな手紙の物語。(小上)



『じごく小学校 4』 有田 奈央／作

・いたずらをしすぎて、ふたたびじごく小学校に戻ることになった、板図良強さん。久しぶりのじごく小学校で、悪いことのエリート「悪の優等生」となぜかいたずら対決をすることに…!?(小)



『ダンス★フレンド』 カミラ・チェスター

・場面かんもく症のため、家族としかしゃべれないレオ。ところが、となりの家に引っ越してきたリカは気にせず話しかけてくる。「リカとなら友だちになれるかも」と勇気を出して、しゃべれないわけを手紙に書くが…。(小上、中)

